



笠建企第 117 号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

岡山県笠岡市長 高木直矢



中期的な計画の作成にあたっての意見について

国道企第114号で御依頼のありました標記のことにつきまして、別添のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理について

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 日常生活に密着した道路の整備

市民住民の日常生活の向上のために道路整備は必要不可欠であります。中でも通勤等で日々通行している生活道路の充実が地方においては、喫緊の課題であります。このような状況下で、幹線的な道路整備については、大都市を中心に計画的に行われていますが、市民生活に密着した道路の整備は、未だ改良率は低い状況にあり、これの計画的整備に財源の確保をお願いしたい。

また、市道のみならず、生活道路としての機能をもった国道や県道の整備を優先的に行っていただきたい。特に、本市の場合、東西を横切る道路は山陽自動車道と国道2号が中心です。現在の国道2号は、片側1車線で、1日あたり約3万台の通行量があり既に飽和状態です。交通渋滞も慢性的にあります。その中には市内を通過する車両だけでなく、通勤や通学、買い物などに利用している市民の利用率も高くなっており、通過する道路と生活道路との分離のための道路整備を優先的に行っていただきたい。

笠岡市の道路整備の状況（H17.4.1現在）

		路線数	実延長(km)	改良済延長(km)	改良率(%)
国	2号	1	7.8	7.8	100.0
県	主要地方道	6	40.8	32.5	79.6
	一般県道	9	52.0	32.8	63.2
	計	15	92.8	65.3	70.4
市	1級	31	58.9	40.2	68.3
	2級	23	37.6	16.9	44.9
	その他	5,088	1,183.2	274.9	23.2
	計	5,142	1,279.7	332.0	25.9
合計		5,158	1,380.3	405.1	29.3

(2) 弱者対策としての道路整備

学童の通行量の多い通学路等の歩道の整備率は全国平均で46%となっており、特に市町村道の整備は約35%と低い状況にあります。本市においても、歩道の設置されていない県道や市道が多くあります。また、笠岡市をはじめとする地方の高

齢化率は全国平均を大きく上回っており、子供や高齢者を交通事故から守るためにも、道路新設とともに歩道設置やバリアフリー化を優先的に行う必要があります。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

平成19年度道路政策ポイント7「道路施策の進め方」の中にある「目標宣言プロジェクト等による事業のスピードアップ」の施策は大いに有効と思います。早急に具体的指針等を明示していただきたい。特に計画区間については、目標年度を示していただきたい。

また、それと同時に、計画区間から整備区間への格上げになる期間を短縮していただきたい。短期間で集中的に整備を行うことで、効率的な整備が図られると考えられます。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

市民からの道路整備の要望や維持修繕的な要望は、毎年増加の一途をたどっています。幹線道路の整備は概ね終了したとの見解ですが、地方では地区と地区を結ぶ道路の新設や安全・安心への対応はまだ遅れている状況にあります。地方税や交付税が減少し歳入の確保が大変厳しい財政状況の中で、年々増加傾向にある市民からの道路整備や道路維持管理要望に対応しなければなりません。道路特定財源の一般財源化が言われていますが、真に必要な道路を厳選し、優先的に、過大投資することなく地域にあった道路を早急に整備することは当然の責務です。「安心して通行できる道路」にするために、地方の道路維持管理費用についても、道路特定財源が充当できるようにしていただきたい。